

が全てを請け負うことは無理です。しかし、今回補正分の事業は、地元零細業者に配慮した事業執行を要請されているので、地元業者の受注が増加するものと思われまます。

★ゴミ処理センター建設にあたり、津山市長が下原、領家住民に示した見解をどう受け止めたか。事業を検証し、住民の納得できる説明が必要ではないか。

管理者としてではなく、津山市長の立場で発言されているので、鏡野町長としてコメントする立場にありません。15回にわたり慎重に審査された適地選考委員会の結論を、管理者・副管理者全員で了承して、事業を進め、用地取得も完了しています。今まで積み上げてきたことをないがしろにはできません。

★人権を守るまちづくり推進の取り組みについて。

年間を通して様々な人権啓発活動を行っています。人権擁護委員や保護司の方々を始め、多数の個人・団体に携わっていただき、活動を展開しています。定期的に入権問題相談所を開設し、また犯罪被害者の支援にあたります。

中山間地域等直接支払制度の実施状況

中山間地域等直接支払交付金制度は、高齢化が進む中山間地域における農地の耕作放棄の防止など、将来に向けて農業生産活動を継続する前向きな取組みを行うことを目的とし、耕作者の同意による集落協定を結ぶことにより交付金が交付される制度です。

当制度の方針に基づき、平成21年度の実施状況を公表します。

| 項目 | 内容 |
|---------|---|
| 集落協定の概要 | 対象となる農地は、鏡野町の中山間地域等直接支払基本方針に基づき、農振農用地区域内の一団の急傾斜農地（傾斜率 1/20m 以上の田）及び緩傾斜農地（傾斜率 1/100m 以上 1/20m 未満の田）。 将来に向けた集落マスタープランを作成し、適切な農用地管理及び関連する水路、農道等の適正管理を実施する。助成金の2分の1は、集落の共同取組活動に使用する。 |
| 実施地区 | <ul style="list-style-type: none"> * 鏡野地区 (13集落協定/協定面積 101ha / 交付額 17,527,027円) * 奥津地区 (40集落協定/協定面積 237ha / 交付額 29,258,145円) * 上齋原地区 (23集落協定/協定面積 94.8ha / 交付額 10,142,170円) * 富地区 (27集落協定/協定面積 83.7ha / 交付額 9,822,277円) |

指定業者を募集します。下水道排水設備指定工事店

下水道へ接続する宅内工事を行うには、下水道排水設備指定工事店の資格が必要になります。町民のみなさんが安心して宅内工事を依頼できるよう、今年度も引き続き指定業者を次のとおり募集します。

- 募集期間 平成22年6月1日(火)～平成22年6月30日(水)
- 主な適合要件
 1. 下水道排水設備工事責任技術者(日本下水道協会岡山県支部登録者)が一名以上専属していること
 2. 工事の施工に必要な機械器具を有していること
 3. 岡山県若しくは鳥取県内に営業所があること
 4. 市町村税の滞納がないこと
- 申請方法 申請書に必要事項を記入のうえ、指定する書類を添付して鏡野町役場上下水道課に提出してください。
(申請書は役場上下水道課もしくは役場ホームページからダウンロード出来ます。)

※詳しくは役場上下水道課(☎0868-54-0001)までお問い合わせください。

6月は土砂災害防止月間です みんなで防ごう土砂災害

例年梅雨時期には、全国各地で土砂災害が発生し、時には尊い人命が奪われています。いつ、どこで起こるか分からない土砂災害から身を守る最も確実な方法は「逃げる事」です。自宅近辺に土砂災害の危険性の高い場所はあるか。どこを通過して、どこに避難するか。どのタイミングで避難するか。誰と避難するか。何を持って避難するか。家族との連絡をどうやってつけるか。

毎日災害のことを考えて暮らすのは気が滅入るかもしれませんが、梅雨のこの時期だからこそ、家族や町内会です是非確認してみてください。

岡山県土木部防災砂防課ホームページ(土砂災害防止月間)URL : http://www1.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=48873